

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年3月3日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	マツダロジスティクス株式会社
所 在 地	〒734-0032 広島県広島市南区楠那町3番19号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 加藤 拓弥
担 当 者 連 絡 先	電 話：082-251-3283
	メー ル：fujihara.yu@mazdalogi.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.mazdalogi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は、大正11年に戸田回漕店として創業し、現在では、マツダグループの一員として、陸・海・空をつなぎ、陸上輸送サービス、海上輸送サービス、航空貨物サービス、港湾サービス、輸出入サービス、梱包サービスなどを提供する総合一貫物流企業として、お客様からの多種多様なニーズに応え続けることができるよう努めております。 港湾サービスでは、広島港、防府中関港を中心として、国内と海外との物流を円滑に結ぶため、完成車及びコンテナの船内荷役作業、倉庫保管サービスやCTオペレーション業務等を提供しています。
--

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	ジェンダー平等の実現にむけ、女性もイキイキと活躍できる職場づくり	係長以上の女性管理者数 【目標】 倍増 (2020 年度比)
✓環境 □社会 ✓経済	貨物量に応じた、高効率な内航コンテナフィーダー船運航への取り組み	運航船舶数 【目標】 10%削減 (2022 年度比)
□環境 ✓社会 □経済	地域行政と連携した、港湾運送に関わる社会見学の受け入れ	社会見学受け入れ回数 【目標】 8 回/年 【現状】 2 回/年

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	階層別の人権研修の実施 公正な採用選考の実施 人権週間に合わせた社長メッセージの発信 管理監督者向けの研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	2003年 人権侵害撤廃規則の制定し人権侵害を禁止する旨を宣言 ・社内に人権侵害相談窓口を設置 ・社内に女性相談窓口を設置 ・外部相談窓口 ほっとラインの設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	労働基準法改正等、労使での情報共有の実施 労使専門委員会による時間外実績の共有 有休取得状況の促進と実績の把握 在宅勤務の導入 RPAの導入等による業務改善 勤務管理システムによる管理 (アラート機能あり)								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	歩車分離活動への取り組み リスクアセスメント活動の推進 協力会社との合同安全巡視			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・従業員へのストレスチェック ・ストレス職場への改善支援 (高ストレス者への個人面談、高ストレス職場への支援) ・ストレスチェック結果に基づくメンタルヘルス教育検討・実施 ・健康啓発活動 (ヘルスアップ通信の全社配信)			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材 (女性、外国人、障がい者、高齢者等) が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	くるみん認定 育児・介護休業を取得しやすい環境の整備 ・勤務時間短縮、フレックス勤務、時差勤務、時間外労働の免除 在宅勤務の導入 リフレッシュ休暇制度 2022年10月1日現在 障害者雇用率 2.49%					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各階層別教育の実施 外部研修・通信教育の推奨 (評価制度に反映) 港湾運送事業に関連する業務資格、研修受講の推進				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる				3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	3ヶ月に1度環境巡視を実施し、廃棄物分別等のルール遵守状況の確認に努めている											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	CN対応機械への導入検討をメーカー等と情報共有し、将来のCN機器導入や保有機械の削減に取り組んでいる							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	CN対応機械への導入検討をメーカー等と情報共有し、将来のCN機器導入や保有機械の削減に取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	PRTR法に基づき、排出量の把握・管理を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001認証済			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	HPで当社の環境に関する取り組み状況を開示している												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・SMS（安全衛生マネジメントシステム）・船舶輸送安全マネジメントシステム・車両輸送安全マネジメントシステムを構築している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001認証済									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
6 地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	広島港における小学校等から「港のしごと」に関する見学希望の受け入れ対応実施				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				
8 組織体制	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念にて「お客様にとって常に最適なロジスティクスサービスを提供し社会の発展に貢献します」と宣言。一人一人がSDGs達成を含む、社会への貢献を目指すものとしている。 ・SDGs達成に向けた経営目標を設定し、関係活動を推進。								8	9								17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・法令遵守に関わる諸体制（規程類整備、専門組織設置、教育活動、契約審査等）を構築し、継続した法令遵守活動を実施。																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・業務分掌規程を制定し、同規程に基づき担当部門の役割を明確化し、体制を整備。																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・取引先にアンケート調査を実施し、適正な取引がされていることを確認する活動を実施																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・環境、安全衛生、労働環境の領域にて、定期的にリスクを洗い出し、対応要否・順位を決めた上で、かかるリスクへの管理活動を実施。																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・基本方針、専門部署を制定。 ・各部署にて目標設定の上、活動。																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している									9		11		13.1				16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている								8	9									17

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

令和 6 年 4 月 25 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 〒734-0032 広島県広島市南区楠那町 3 番 19 号

名称： マツダロジスティクス株式会社

代表者： 代表取締役社長 日浦 章博

登録年月日： 令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	ジェンダー平等の実現にむけ、女性もイキイキと活躍できる職場づくり	係長以上の女性管理者数 【目標】 倍増（2020 年度比）	係長以上の女性管理者数 2023 年度 倍増（2020 年度比） 目標達成
✓環境 □社会 ✓経済	貨物量に応じた、高効率な内航コンテナフィーダー船運航への取り組み	運航船舶数 【目標】 10%削減（2022 年度比）	運航船舶数 2023 年度 3.3%削減
□環境 ✓社会 □経済	地域行政と連携した、港湾運送に関わる社会見学の受け入れ	社会見学受け入れ回数 【目標】 8 回/年 【現状】 2 回/年	社会見学受け入れ回数 2023 年度 5 回

令和 7 年 4 月 23 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 〒734-0032 広島県広島市南区楠那町 3 番 19 号

名称： マツダロジスティクス株式会社

代表者： 代表取締役社長 日浦 章博

登録年月日： 令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	ジェンダー平等の実現にむけ、女性もイキイキと活躍できる職場づくり	係長以上の女性管理者数 【目標】 倍増 (2020 年度比)	係長以上の女性管理者数 2024 年度 2.6 倍 (2020 年度比) 目標達成
✓環境 □社会 ✓経済	貨物量に応じた、高効率な内航コンテナフィーダー船運航への取り組み	運航船舶数 【目標】 10%削減 (2022 年度比)	運航船舶数 2024 年度 2.6%削減
□環境 ✓社会 □経済	地域行政と連携した、港湾運送に関わる社会見学の受け入れ	社会見学受け入れ回数 【目標】 8 回/年 【現状】 2 回/年	社会見学受け入れ回数 2024 年度 6 回